

※ プラスチックニードルは再使用禁止

MSコート Hysブロックジェル

【禁忌・禁止】

本材に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと（使用上の注意の項参照）。
プラスチックニードルは再使用禁止 [感染のおそれがあるため]

【形状・構造及び原理等】

以下の構成成分があり、記載の成分を含有します。

構成成分	性状	組成
MSコート Hysブロックジェル	粘性 液体	メタクリル酸メチル/スチレンスルホン酸共重合体、 しゅう酸、水、ふっ化ナトリウム、pH調整剤（カリウム塩）、 増粘剤、その他

※ 付属品：プラスチックニードル、ニードルキャップ（グレー）

【原理】

本材を塗布すると、スルホン酸基を有する共重合体としゅう酸が同時に歯質のカルシウム成分と化学反応してシュウ酸カルシウム結晶を含む高分子保護被膜を形成する。ふっ化物及びカリウム塩も取り込んだこの強固な被膜によって歯質表面及び象牙細管や象牙質に至る微小亀裂の内部を緊密に封鎖する。象牙細管の封鎖が知覚過敏の発症因子である細管内液の移動を抑止するため知覚過敏症を抑制できる。

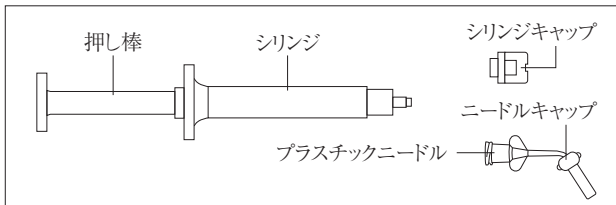
【使用目的又は効果】

象牙質又は形成象牙質の知覚過敏の抑制に用いる。

※ 【使用方法等】

1) 容器の取り扱い方法

- ① シリンジ先端のシリンジキャップを、反時計まわりに回転させてはずします。
- ② 付属のプラスチックニードルをはめ込み、確実に固定するまで時計まわりに回転します。
- ③ 使用直前まではプラスチックニードルの先にニードルキャップを付けておきます。
- ④ 使用後はプラスチックニードルを反時計まわりに回転させて取りはずし、シリンジキャップを時計まわりに回転させて装着し保管します。



2) 操作手順

(1) 歯面清掃

患部に唾液が付着している場合は綿球等で拭き取ります。患部にプラークが付着している場合はブラシや綿球等で取り除きます。本材の効果を十分に発現させるために歯面清掃はしっかりと行ってください。

(2) 本材の塗布

本材を患部もしくはその周辺を含む歯質表面に薄く一層塗布し、30秒間以上静置します。なお、1歯あたりの使用量は米粒大が目安です。

(3) 洗口

うがい等で口腔内を十分に水洗します。

※ より効果を期待する場合や歯面清掃時に痛みが強くプラークの除去が困難な場合には、別売のフェルトホルダー及びフェルトチップ、または綿球やラバーカップ等を用いて本材を患部に5秒以上こすり塗ります。こすり塗りは以下の方法で行ってください。

① 前準備

フェルトホルダーの先端部にフェルトチップを挿入します。綿球を使用する場合には患部の大きさにあわせた綿球を用意してください。ラバーカップ等を使用する場合はコントラングルにラバーカップ等を装着します。

※ ② こすり塗り

本材を患部もしくはその周辺を含む歯質表面に塗布し（目安：1歯当たり米粒大）、準備したフェルトチップまたは綿球を用いて5秒以上

こすり塗ります。また、ラバーカップ等を使用する場合は、予めカップ内に本材を採取し（目安：1歯当たり米粒大）、本材が飛散しないように低速回転（目安：1000回転/min）で5秒以上こすり塗ります。なお、患部が歯肉に接触する部位や歯間部等におよぶ場合にはフェルトチップやラバーカップ等の使用をお勧めします。

③ 洗口

うがい等で口腔内を十分に水洗します。

1回（1日）の処置で十分に効果が得られない場合でも来院ごとに数回処置を重ねることで効果が期待できます。

※ 【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 歯肉縁下で歯肉再付着を期待する部位には適用しないこと。
- 2) プラキズムのある患者や大きなWSDの症例には十分な効果が得られない場合がある。
- ※ 3) 本材を使用した部位に接着材を適用すると接着強さが低下する。接着材に「スーパーボンド」又は「ボンドフィルSB プラス」を使用する場合は「表面処理材グリーン」で10秒間こすりながら歯面処理をすること。
- 4) 本材はふっ化物を含有しているためガラス製品との接触を避けること。
- 5) 使用後はすぐにシリンジキャップで閉栓すること。閉栓せずに放置すると本材が乾燥して詰まる場合がある。
- 6) 保管条件や保管期間によって本材の味が変化することがあるが効果には影響しない。
- 7) 必ず専用のプラスチックニードルを使用すること。
- 8) プラスチックニードルは感染防止のため、同一患者のみに使用し、他の患者への再使用はしないこと。また、同一患者であっても口腔内で使用したプラスチックニードルにニードルキャップは装着しないこと。
- 9) 感染予防のため、使用中の製品容器に唾液や血液等が付着した場合はアルコール等で適切に清掃し消毒すること。
- 10) 本材の使用に際し、唾液や血液に接触しないように注意すること。
- 11) 本材と併用して使用する歯科材料、機器及び器具は、それぞれの添付文書等に記載の使用方法及び使用上の注意事項を厳守すること。
- 12) 他の製品と混合して使用しないこと。
- ※ 13) 本品は【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。適用部位以外に付着した場合は水洗すること。
- 14) 本材を使用する際、患者及び医療従事者は保護眼鏡を使用すること。

※ 【使用上の注意】

1) 重要な基本的注意

- ① 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- ② 本材に対する過敏症の既往歴のある術者は、手袋等を用いて直接本材に触れないようにすること。また本材の使用により過敏症状を起こした場合には使用を中止し医師の診断を受けること。なお、医療用（歯科用）手袋は、本材の直接的接触を防ぐが、一部のモノマー、有機溶媒が短時間のうちに手袋素材を浸透することが知られているので、本材が付着した場合は直ちに手袋を捨て、石鹸を使用して流水で手を十分に洗浄すること。

※ ③ 本材は酸性である（pH：約3）。口腔内粘膜や軟組織に傷や炎症がある部位へは本材を使用しないこと。もし傷や炎症がある部位に付着した場合は、すぐに多量の流水で洗浄すること。万一、目に入った場合はすぐに多量の流水で洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受けること。

- ④ 本材を使用中に誤飲させないこと。万一、誤飲させた場合は、うがいをさせ、必要に応じて医師の診断を受けさせること。
- ⑤ 本材をフェルトチップ又は綿球やラバーカップ等で歯肉を強くすると、歯肉に炎症を起こすおそれがあるので注意すること。
- ⑥ 使用するにあたっては、患者の個人差も考慮し、症例に適合するかどうかを判断して使用すること。

2) 不具合・有害事象

本材の使用に伴い、発疹、皮膚炎等の過敏症状が発生することがあります。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・多湿、直射日光を避け、室温（1℃～30℃）にて保管すること。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[使用期間]

本体に記載の使用期限*までに使用すること。

[記載の使用期限は、自己認証（当社データ）による。]

※（例 ㊦〇〇〇〇-△△は使用期限〇〇〇〇年△△月を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：サンメディカル株式会社

住 所：〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2

電話番号：077-582-9980

フリーダイヤル：0120-418-303 (FAX共通)

電話受付時間 月～金（祝日を除く）午前9:00～午後5:30

ホームページ：<http://www.sunmedical.co.jp>